

第2次犬山市環境基本計画における施策体系

基本目標	1 里山の恵みを守り育てるまち～自然共生社会の実現～
------	----------------------------

個別目標の達成状況

個別目標	(1) 里山の保全
施策	① 里山(洞)の保全
	② 農地、森林・里山林の保全
	③ ため池・河川、水辺の保全・活用

施策指標の進捗状況

通番	担当課	施策指標	単位	計画策定時 (2019年度)		今回調査 (2025年度)		中間目標値 (2025年度)	目標値 (2030年度)
1	環境課	里山等に生息・生育する動植物の保全活動の参加者数(環境課関連事業)	名/年	812		883		900	1,000
2	環境課	森林保全のための整備活動への参加者数(環境課関連事業)	名/年	334		368		360	400
3	環境課	東海自然歩道利用者数(入込調査 8日/年)	名	504		321		550	600
4	産業課	有害鳥獣による被害農地面積	m ²	37,300		27,600		31,100	26,700

今年度事業の進捗・達成状況

通番	目標達成に向けた取組	実施事業	担当課	R7計画		R7実績		
				計画値	積算根拠等	実績値	積算根拠等	達成度 評価
1	里山をはじめ、森林に生息・生育する動植物の保全を行います。	動植物の生息調査の実施	環境課	7回	マメナシ調査6回 五条川生物調査1回	10回	マメナシ調査9回 五条川生物調査1回	A
2	里山に触れ合う体験・学習等を実施することで自然に親しむ機会を増やします。	昆虫教室・じゃぶじゃぶガサガサ魚とり等の環境学習講座の開催	環境課	10回	環境保全活動支援及び環境保全活動拠点の管理委託	11回	緑のカーテン講座1回、里山ウォッチング5回、ボランティア養成講座6回	A
3	森林環境譲与税を活用し、市民が行う森林保全のための整備活動を支援します。	犬山市森林整備地域活動支援事業補助金の交付	環境課・産業課	—	犬山市森林整備地域活動支援事業補助金	0件		—
4	「飛騨木曽川国定公園」や「東海自然歩道」など、里山の魅力をイベントやホームページ等により市内外へ発信し、積極的にPRを行います。	利用者に必要な情報の発信	環境課	1回	市ホームページ[県HPに外部リンク]	1回	市ホームページ[県HPに外部リンク]	A
		飛騨木曽川国定公園に関連する自治体と連携した誘客宣伝事業(看板の維持、パンフレット作成など)の実施	観光課	1回	自治体と連携したPRイベントに参画	1回	自治体と連携したPRイベントに参画	A
5	農業従事者、土地所有者、市民と連携を図りながら、農地(水田)の保全や遊休農地の利活用を図ります。	遊休農地の解消支援のため、荒廃農地等利活用促進事業補助金の交付	産業課	遊休農地 解消面積 1.1ha	令和7年度農業委員会最適化活動の目標設定	遊休農地 解消面積 1.35ha	犬山市荒廃農地等利活用促進補助金による解消面積	A

通番	目標達成に向けた取組	実施事業	担当課	R7計画		R7実績		
				計画値	積算根拠等	実績値	積算根拠等	達成度評価
6	有害鳥獣による被害を防止するため、地域や関係機関と連携しながら、防除対策を推進します。	有害鳥獣による被害農地面積を減らすため、柵設置や有害鳥獣駆除の実施	産業課	駆除件数 440件	イノシシ(305頭)、アライグマ等(115頭)、カラス等(20羽)	駆除件数 475件	イノシシ(357頭)、アライグマ等(98頭)、カラス等(20羽)	A
7	河川やため池などで行う公共工事では、事前に生息・生育する生物及びその環境を調査するなど周囲の自然環境の現状を把握し、生物等に配慮するとともに必要な対策を講じた上で事業を行います。	自然環境の保全と再生のガイドライン(愛知県作成)に基づく指導・必要な対策を講じた事業の実施	土木管理課 整備課・環境課	—		—	該当工事なし	—
8	里山やため池等の自然資源を保全するとともに、犬山城等の歴史的・文化的遺産である歴史資源についても保存、活用し、両資源が調和したまちづくりを推進します。	建築物等の建築にあたり犬山市景観計画に基づく指導・助言の実施	都市計画課	—		38件	景観計画区域における行為の届出件数	—
		犬山市歴史的風致維持向上計画に基づき、文化財保存事業費補助金などを活用して推進します。	歴史まちづくり課	2件	犬山市文化財保存事業費補助金交付予定件数2件	0件	補助金申請件数	B
		市内河川での水生物調査の実施	環境課	1回	五条川生物調査	1回	五条川生物調査	A
			評価結果	年度当初の目標以上に取り組みを達成した		S	0	0.0%
				計画どおり目標値を達成した		A	7	63.6%
				取り組みを実施したが、外的要因で目標値は達成できなかった		B	1	9.1%
				取り組みを実施したが、内的要因で目標値は達成していない		C	0	0.0%
				全く実施していない		N	0	0.0%
				数値目標未設定(相手方からの申請など)		—	3	27.3%

■個別目標の達成状況

個別目標	(2) 生物多様性の保全
施策	④ 動植物の生息・生育環境の保全
	⑤ 生物多様性の保全に向けた普及・啓発

■施策指標の進捗状況

通番	担当課	施策指標	単位	計画策定時 (2019年度)		今回調査 (2025年度)		中間目標値 (2025年度)	目標値 (2030年度)
5	環境課	動植物の生息調査の実施回数(環境課関連事業)	回/年	4		4		4	4
6	環境課	里山等に生息・生育する動植物の保全活動の参加者数(環境課関連事業)	名/年	812		883		900	1,000
7	環境課	観察会等の参加者数(環境課関連事業)	名/年	124		135		130	150
8	環境課	外来種駆除活動の実施回数及び参加者数(環境課関連事業)①	回/年	1		33		2	3
9	環境課	外来種駆除活動の実施回数及び参加者数(環境課関連事業)②	名	23		64		50	100

■今年度事業の進捗・達成状況

通番	目標達成に向けた取組	実施事業	担当課	R7計画		R7実績		
				計画値	積算根拠等	実績値	積算根拠等	達成度 評価
9	生物の多様性を保全するために、市内に生息・生育する希少な動植物をはじめとする動植物の生息・生育調査により実態を把握し、適切な保全措置を行うとともに、ビオトープの維持管理に努めます。	生物多様性の観点から希少植物調査事業を実施	環境課	1回	マメナシ生息調査等業務委託	1回	マメナシ生息調査等業務委託	A
10	市民や地域、環境団体等の協力を得ながら、希少な動植物の生息・生育の保全を行います。	希少植物(マメナシ)調査事業の実施	環境課	1回	マメナシ生息調査等業務委託	1回	マメナシ生息調査等業務委託	A
11	生物多様性に大きな影響を与える開発行為などに対しては、環境保全対策を講じるように指導します。	自然環境の保全と再生のガイドライン(愛知県作成)に基づく指導の実施	環境課	—	各種法令許認可に係る協議時等に実施	25件	各種法令許認可に係る協議時等に実施	—
12	外来種に関する情報を発信し、外来種の侵入・拡散の防止について周知・啓発に努めるとともに、市民や活動団体と協働により防除活動に取り組みます。	外来種駆除活動(普及啓発)の実施	環境課	12回/年	アルゼンチンアリの防除活動(ベイト剤交換等)	33回	・アルゼンチンアリ防除活動 ・セアカゴケグモ駆除 ・オオキンケイギク駆除	A
13	里山環境や、貴重な自然・生物についての市民の理解を深めるため、自然観察イベントなどを開催します。	東大演習林生態水文学研究所と連携した自然観察会の実施	環境課	2回	東大演習林観察会の実施 春・秋	2回	春:4/12 秋:11/9(市民総合大学講義、雨天のため座学)	A
14	生物多様性保全の重要性について情報発信を行い、市民、事業者の意識の向上と、自発的な保全活動への取り組みを促します。	国際生物多様性の日(5月21日)などの関連情報の周知	環境課	2回	・里山学センターの企画展示 ・環境総合イベント(環境フェア)にて周知	2回	・里山学センターの企画展示 ・環境総合イベント(環境フェア)にて周知	A
評価結果				年度当初の目標以上に取り組みを達成した		S	0	0.0%
				計画どおり目標値を達成した		A	5	83.3%
				取り組みを実施したが、外的要因で目標値は達成できなかった		B	0	0.0%
				取り組みを実施したが、内的要因で目標値は達成していない		C	0	0.0%
				全く実施していない		N	0	0.0%
				数値目標未設定(相手方からの申請など)		—	1	16.7%

■個別目標の達成状況

個別目標	(3) 健全な水循環系の構築
施策	⑥ 健全な水循環系の維持・回復に向けた取組の推進
	⑦ 良好な水環境の維持

■施策指標の進捗状況

通番	担当課	施策指標	単位	計画策定時 (2019年度)		今回調査 (2025年度)		中間目標値 (2025年度)	目標値 (2030年度)
10	環境課	河川BOD環境基準達成率(定点観測22地点)	%	100		100		100	100
11	下水道課	公共下水道人口普及率	%	68.6		72.2		72.3	74.8

■今年度事業の進捗・達成状況

通番	目標達成に向けた取組	実施事業	担当課	R7計画		R7実績		
				計画値	積算根拠等	実績値	積算根拠等	達成度 評価
15	みどりの防災・減災機能に着目し、遊水機能などを有している水田などの農地や森林の保全を図ります。	優良農地や森林の保全のため、犬山市農業振興地域整備計画及び犬山市森林整備計画に基づく相談の受付・助言	産業課	—		7件	農用地利用計画変更申出件数	—
		犬山市森林整備地域活動支援事業補助金の交付	環境課	—	犬山市森林整備地域活動支援事業補助金	0件		—
16	生活排水による汚濁負荷の軽減のための指導・PRを推進します。	生活排水による汚濁負担軽減につながる浄化槽設置を推進する情報提供	環境課	2回/年	補助金関係 市ホームページ(1回・通年) 市広報(1回)	2回	ホームページ(通年) 広報4月号掲載	A
17	家庭でできる生活排水対策を支援するため、広報紙、ホームページ等を通じた情報提供の充実を図ります。	生活排水による汚濁負担軽減につながる浄化槽設置を推進する情報提供	環境課	2回/年	補助金関係 市ホームページ(1回・通年) 市広報(1回)	2回	ホームページ(通年) 広報4月号掲載	A
18	水質を保全するため、事業所などに対し、関係法令の規制基準を遵守するよう指導します。	建築事前審査会等にて環境法令を踏まえた協議を行い環境への配慮を依頼・法令の遵守を指導	環境課	—	建築事業等事前審査会を通じて協議を実施	25件	各種法令許認可に係る協議時等に実施	—
19	下水道施設の維持管理を実施し、安定した処理を行います。	犬山市公共下水道事業計画に基づく施設の維持管理	下水道課	—		—		—
20	下水道整備区域では、下水道施設への接続を促進します。	供用開始後3年経過した未接続世帯への訪問依頼(PR)の実施	下水道課	500世帯	PRチラシを郵送で送付	505世帯	PRチラシを郵送で送付	A
21	単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を促進します。	犬山市合併処理浄化槽設置整備事業補助金の交付	環境課	—		7件		—
22	イベント活動などを通じて、水資源や水循環への関心が高まるよう働きかけます。	身の回りの生活における水循環を解説する資料(「生活排水を考える」(愛知県)の配布	環境課	—		随時	カウンターに配架	—
評価結果				年度当初の目標以上に取り組みを達成した		S	0	0.0%
				計画どおり目標値を達成した		A	3	33.3%
				取り組みを実施したが、外的要因で目標値は達成できなかった		B	0	0.0%
				取り組みを実施したが、内的要因で目標値は達成していない		C	0	0.0%
				全く実施していない		N	0	0.0%
				数値目標未設定(相手方からの申請など)		—	6	66.7%

■第2次犬山市環境基本計画における施策体系

基本目標	2 限りある資源を有効に利用するまち ～循環型社会の実現～
------	-------------------------------

■個別目標の達成状況

個別目標	(4) 3Rの推進
施策	⑧ 食品ロス等ごみの発生抑制に向けた普及・啓発
	⑨ 再資源化の推進と脱プラスチック
	⑩ 適正なごみ処理体制の確保

■施策指標の進捗状況

通番	担当課	施策指標	単位	計画策定時 (2019年度)		今回調査 (2025年度)		中間目標値 (2025年度)	目標値 (2030年度)
12	環境課	ごみアプリの閲覧数	回/年	82,003		217,725		100,000	126,000
13	環境課	臨時エコステーション開設数	回/月	3		3		4	6

■今年度事業の進捗・達成状況

通番	目標達成に向けた取組	実施事業	担当課	R7計画		R7実績		
				計画値	積算根拠等	実績値	積算根拠等	達成度 評価
23	発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再資源化(リサイクル)の3Rを推進します。	①小学生向け(4年生)ごみのはなし冊子を作製 ②わん丸リサイクル小屋でリサイクル品販売	環境課	680冊	小学生向け(4年生)ごみのはなし冊子を作成	680冊		A
24	レジ袋削減や過剰包装等についての啓発を行い、ごみの削減を推進します。	ごみ分別アプリでの「みんなで減らそうレジ袋チャレンジ(環境省)」の周知	環境課	—		—		—
25	生ごみの発生と排出量を減らすため、生ごみの水切りについての周知や、生ごみ処理機の普及に努めます。	・広報等での関連記事(「生ごみ水切り排出のお願い」など)の掲載 ・犬山市家庭用生ごみ処理機補助金の交付	環境課	1回/年 —	予算(30,000円×50基)	1回 31基	補助額741,100円(31基)	A
26	家庭や飲食店等に対し、ごみを出さない買い物の仕方や調理方法、食べ残さないための工夫を働きかけ、食品ロスの削減を推進します。	ごみ分別アプリ「買い物前に食品の消費、賞味期限の確認を呼びかけ」の周知	環境課	3回/月	10・20・30日	3回/月	10・20・30日	A
27	県や事業者と連携しながら、使い捨てが中心の容器包装等のプラスチックの使用削減や分別の徹底によるリサイクルの推進を図ります。	広報での関連記事(「プラスチックの分別について」)の掲載広報で周知	環境課	—		—		—
28	ごみの分別方法や排出方法を、世代や国籍を問わず、すべての市民にわかりやすく周知するなど、資源とごみの分別徹底をさらに推進します。	・ごみ分別アプリでの周知 ・ごみ収集日や、ごみの種類がわかるアプリやカレンダーを作成	環境課	—		—		—
29	フードドライブやシェア活動等により食品ロスの削減を推進します。	フードドライブの実施	環境課	3回/年	6・10・2月	3回/年	6・10・2月	A
30	ごみ減量説明会や施設見学会を実施し、より多くの人が廃棄物の削減に対する理解を深める機会を提供します。	施設見学会、クリーンキーパー研修の実施	環境課	1回/年	2日間(平日休日各1日)実施	1回/年	2日間(平日休日各1日)実施	A

通番	目標達成に向けた取組	実施事業	担当課	R7計画		R7実績		
				計画値	積算根拠等	実績値	積算根拠等	達成度評価
31	安全で安定したごみ処理を行います。	都市美化センターの維持管理など	環境課	—		実施		—
32	分別品目、最適な収集区割や収集ルートを検討を行い、安定したごみ収集を行います。	収集方法や収集ルートなど収集運搬方法の合理化について研究実施	環境課	—		実施		—
33	高齢者世帯の増加や人口減少など今後の社会情勢を踏まえ、収集方法についての検討を継続的に行います。	高齢者世帯の個別収集等の研究	環境課	—		—		—
34	新ごみ処理施設の建設に向け、2市2町（犬山市・江南市・大口町・扶桑町）で構成する尾張北部環境組合が事業推進に取り組みます。	令和10年度供用開始に向け事業を推進	環境課	—		実施		—
評価結果				年度当初の目標以上に取り組みを達成した		S	0	0.0%
				計画どおり目標値を達成した		A	5	41.7%
				取り組みを実施したが、外的要因で目標値は達成できなかった		B	0	0.0%
				取り組みを実施したが、内的要因で目標値は達成していない		C	0	0.0%
				全く実施していない		N	0	0.0%
				数値目標未設定（相手方からの申請など）		—	7	58.3%

■第2次犬山市環境基本計画における施策体系

基本目標	3 安心して快適に暮らせるまち ～安全・安心社会の実現～
------	------------------------------

■個別目標の達成状況

個別目標	(5) 安全・安心な生活環境の保全
施策	⑪ 公害防止対策の推進
	⑫ 監視、測定の実施
	⑬ まちの美化・不法投棄対策の推進
	⑭ 公園の整備・維持管理、緑化の推進
	⑮ 桜の維持管理と遊歩道の活用

■施策指標の進捗状況

通番	担当課	施策指標	単位	計画策定時 (2019年度)		今回調査 (2025年度)		中間目標値 (2025年度)	目標値 (2030年度)
14	環境課	自動車騒音基準達成率	%	97.3		97.7		99.8	99.8
15	環境課	クリーンタウン犬山推進事業参加団体数	団体	230		285		300	360
16	環境課	集積場等への監視カメラ設置台数(総数)	台	89		83		250	350
17	環境課	緑化に関するイベント・講座等の参加人数 (環境課関連事業)	名/年	229		128		250	280
18	環境課	桜の拠点数(累積)	箇所	0		0		1	2

■今年度事業の進捗・達成状況

通番	目標達成に向けた取組	実施事業	担当課	R7計画		R7実績		
				計画値	積算根拠等	実績値	積算根拠等	達成度 評価
35	公害の発生を未然に防止するため、工場等の設置に際しては、関係法令を踏まえた事前協議を行います。	建築事前審査会等にて環境法令を踏まえた協議を行い環境への配慮を依頼・法令の遵守を指導	環境課	—	建築事業等事前審査会を通じて協議を実施	8件	建築事業等事前審査会を通じて協議を実施	—
36	生活環境を保全するため、工場等に対し、関係法令の規制基準を遵守するよう指導を行います。	愛知県などと連携しながら、環境法令に基づく指導の実施	環境課	—	環境法令に基づく指導	0件 (公害苦情対応20件)	環境法令に基づく指導	—
37	生活騒音など暮らしの中から生じる公害の未然防止を図るため、市民、事業者への啓発活動を実施します。	生活騒音に対する市民理解に関する情報の提供	環境課	1回	市ホームページに特定建設作業騒音・工場等騒音に関する情報を掲載	1回	市ホームページに特定建設作業騒音・工場等騒音に関する情報を掲載	A
38	自動車による騒音を把握するために、騒音測定を行います。	自動車騒音常時監視調査の実施	環境課	1回	自動車騒音常時監視調査(騒音規制法第18条第1項)	1回	自動車騒音常時監視調査(騒音規制法第18条第1項)	A
39	事業者に対して、適切な廃棄物処理を行うよう指導します。	廃棄物処理法に基づく適正指導の実施	環境課	—		—		—
40	水質、騒音などの測定を行い、測定結果を公表します。	環境白書(新規作成予定)による公表	環境課	1回	令和7年版(令和6年度年次報告書)作成	1回	作成・公表	A

通番	目標達成に向けた取組	実施事業	担当課	R7計画		R7実績		
				計画値	積算根拠等	実績値	積算根拠等	達成度評価
41	犬山市空き缶等ポイ捨て防止に関する条例に基づき、ごみのポイ捨てに対する周知・啓発を実施するとともに、自主的なまちの美化活動、ごみの散乱防止を推進します。	クリーンタウン犬山事業(*)の実施・展開 (*) ボランティア袋の支給、収集ゴミの回収	環境課	—		263件	約19,530人参加	—
42	自らのごみは自らが処理するという意識啓発のため、ごみの持ち帰りについて積極的にPRします。	観光客向けにごみの発生抑制・ごみの持ち帰りなどを促す啓発チラシの配付	環境課	2回	観光課・観光協会・名鉄と連携し、キャンペーンチラシに「ごみの発生抑制・ごみの持ち帰り」などを促す内容を掲載	2回	観光課・観光協会・名鉄と連携し、キャンペーンチラシに「ごみの発生抑制・ごみの持ち帰り」などを促す内容を掲載	A
43	犬山市路上喫煙の防止に関する条例に基づき、禁止区域での喫煙者を指導します。	路上喫煙禁止区域での喫煙者の指導	環境課	—		0件		—
44	不法投棄の防止策として、集積場への監視カメラの設置やパトロールの強化、道路等の不法投棄されやすい場所への警告看板の設置など、県や警察とも協力関係を強化して、不法投棄されにくい環境づくりに努めます。	①監視カメラの設置 ②不法投棄パトロールの実施	環境課	—		①83台 ②週5日 (平日)	都度監視カメラの設置やパトロールを実施	—
		道路・河川で不法投棄されやすい場所での草刈・清掃の実施や啓発看板の設置	土木管理課	—		—		—
45	犬山市空き地の雑草等の除去に関する条例に基づき、土地所有者に対し、空き地の適正管理を指導します。	条例に基づく管理不適正地への助言、指導等の実施	環境課	—	空き地の雑草等の除草に関する条例に基づく助言等	18件	助言18件 指導0件 勧告0件	—
46	公園やちびっこ広場などの日常管理を地元町内会や市民ボランティアと協働して行い、住民の公園に対する愛着を高めます。	公園やちびっこ広場などの日常管理の円滑化および施設への愛着や環境美化意識の高揚を図るため、地元町内会等との委託契約の締結	土木管理課	133箇所 76団体	地元町内会等への委託	134箇所 77団体	地元町内会等への委託	A
47	あいち森と緑づくり補助事業による生け垣や壁面・屋上緑化など、民有地の緑化を広報紙などでPRし、景観に配慮した緑化の推進に努めます。	あいち森と緑づくり補助事業に関する情報提供の実施	環境課	2回	①市ホームページ掲載 ②環境総合イベント(環境フェア))にて周知	2回	①市ホームページ掲載 ②環境フェア(5/17)にて周知	A
48	新規の住宅団地や工業団地の整備にあたっては、地区計画制度や緑地協定などを活用し、緑化の推進を図ります。	建築事前審査会等にて環境法令を踏まえた協議を行い環境への配慮を依頼・法令の遵守を指導	環境課	—	建築事業等事前審査会を通じて協議を実施	8件	建築事業等事前審査会を通じて協議を実施	—
		緑化推進施策に関する緑の基本計画の令和4年度の策定にむけた調査や基本的な方針の検討の実施	都市計画課	—	令和4年度策定済	実施	令和4年度策定済	—
49	市内の道路や公園等の桜について、安全を最優先に、景観に配慮した維持管理を行います。また、診断等による点検を行い、必要に応じて剪定等を実施します。	市内の道路や公園等の桜について、場所によっては診断等による点検を行い、必要に応じた剪定等の実施	環境課・整備課・土木管理課	1回/年	点検委託1回 剪定委託1回	1回/年	点検委託1回 剪定委託1回	A
50	市民の憩いの場となるよう桜の拠点整備を推進します。	市内での桜の拠点整備方針の検討	環境課	—		—		—
51	遊歩道を自然と触れ合う場としてPRをし、市民の健康に繋がります。	①東海自然歩道の紹介 ②自然散策を主目的とするウォーキング事業の実施	環境課	①2回／年 ②5回／年	東海自然歩道愛知県内コースMAPの紹介2回(市HP〔外部リンク〕・窓口書面) 自然散策ウォーキング実施(東大演習林2・里山学センター(市委託)3)	①2回／年 ②7回／年	東海自然歩道愛知県内コースMAPの紹介2回(市HP〔外部リンク〕・窓口書面) 自然散策ウォーキング実施(東大演習林2・里山学センター(市委託)5)	A
		ウォーキング事業「ちょこっと歩こういぬやま」での遊歩道のコースの紹介	健康推進課	年5回	中島池、入鹿池、桃太郎神社周辺、木曽川緑地、青塚古墳周辺を1回ずつ	年3回	中島池(4/2)、入鹿池(5/14)、青塚古墳(2/19)のウォーキング実施。	B
評価結果				年度当初の目標以上に取り組みを達成した		S	0	0.0%
				計画どおり目標値を達成した		A	8	40.0%
				取り組みを実施したが、外的要因で目標値は達成できなかった		B	1	5.0%
				取り組みを実施したが、内的要因で目標値は達成していない		C	0	0.0%
				全く実施していない		N	0	0.0%
				数値目標未設定(相手方からの申請など)		—	11	55.0%

■個別目標の達成状況

個別目標	(6) 気候変動適応策の推進
施策	⑯ 自然災害対策の推進
	⑰ 健康被害対策の推進

■施策指標の進捗状況

通番	担当課	施策指標	単位	計画策定時 (2019年度)		今回調査 (2025年度)		中間目標値 (2025年度)	目標値 (2030年度)
19	下水道課	下水道事業による調整池の整備箇所数 (累積)	箇所	2		3		2	3
20	全課	熱中症に関する啓発活動の実施回数	回/年	6		30		8	10

■今年度事業の進捗・達成状況

通番	目標達成に向けた取組	実施事業	担当課	R7計画		R7実績			
				計画値	積算根拠等	実績値	積算根拠等	達成度 評価	
52	みどりの防災・減災機能に着目し、遊水機能などを有している水田などの農地や樹林の保全を推進します。	優良農地や森林の保全のため、犬山市農業振興地域整備計画及び犬山市森林整備計画に基づく相談の受付・助言	産業課	—		7件	農用地利用計画変更申出件数	—	
53	市街地における雨水貯留浸透施設及び調整池などの排水施設の整備や適切な管理を行うなど、雨水の流出抑制対策を推進し、防災や減災に対するレジリエンス(適応力・回復力)向上を図ります。	雨水の流出抑制対策として調整池などの排水施設の整備を実施	整備課	—		—	該当工事なし	—	
		①調整池排水ポンプの保守点検の実施 ②調整池の除草・清掃の実施	土木管理課	2回／年 1回／年	①調整池等ポンプ保守点検2回／年 ②調整池の除草・清掃1回／年	2回／年 1回／年	①調整池等ポンプ保守点検2回／年 ②調整池の除草・清掃1回／年	A	
		防災訓練等の実施によるハザードエリアに関する市民周知	防災交通課	22回／年	土砂災害に強い地域づくり活動1回 総合防災訓練1回 出前講座20回	28回／年	土砂災害に強い地域づくり活動1回 総合防災訓練1回 出前講座26回	A	
54	各種ハザードマップの周知に努め、市民の防災意識の高揚と避難行動への活用を図ります。	出前講座及び広報による市民周知	防災交通課	22回／年	出前講座20回 広報特集記事掲載2回	28回／年	出前講座26回 広報特集記事掲載2回	A	
55	屋上緑化や緑のカーテンにより室内温度を下げるなど、緑を活用した熱中症対策の推進に努めます。	市民向け緑のカーテン講座の実施	環境課	1回	講座実施	1回	5/17実施(環境フェア)	A	
		市民健康館の浴場和室休憩室の軒先に、日よけとしてゴーヤ、朝顔を植えて緑のカーテンを設置	健康推進課	年1回	1ヶ所設置予定	年1回	市民健康館「さら・さくら」において実施	A	
56	熱中症の発生を抑制するため、市民や事業者に対し注意喚起を行います。	検診や集団接種の会場などでの熱中症予防の啓発	健康推進課	年20回	6～9月実施の運動事業や集団健診にて注意喚起。市公式SNSにて熱中症予防の周知啓発。	年28回	健康づくり事業や商工会議所健診実施時に9回、公式ラインにて19回啓発を実施。	A	
		要望に基づく応急手当講習での熱中症予防カリキュラムの開催	消防本部	—		実施	救急講習時に啓発	—	
57	感染症リスクに関する情報発信を行い、健康被害の発生抑制に努めます。	蚊媒体感染症及びダニ媒介感染症の予防啓発や対策の推進を図るため、ポスター掲示	健康推進課	年1回	江南保健所からの通知に基づき、掲示板で周知啓発を実施する。	1回	県通知および県内死亡者の報道を受け、ホームページ等で市民に周知した。	A	
58	気候変動の影響による被害を最小限とするため、地域の防災・減災力の強化など、気候変動適応に関する施策について検討し、推進します。	出前講座による市民周知・啓発の実施	防災交通課	21回／年	総合防災訓練1回 出前講座20回	27回／年	総合防災訓練1回 出前講座26回	A	
		関連映像を用いた「地球温暖化」に関する市民周知の実施	環境課	—	自然環境を中心とした催しを実施するため、実施予定なし	0回		—	
			評価結果	年度当初の目標以上に取り組みを達成した			S	0	0.0%
				計画どおり目標値を達成した			A	8	66.7%
				取り組みを実施したが、外的要因で目標値は達成できなかった			B	0	0.0%
				取り組みを実施したが、内的要因で目標値は達成していない			C	0	0.0%
				全く実施していない			N	0	0.0%
				数値目標未設定(相手方からの申請など)			—	4	33.3%

■第2次犬山市環境基本計画における施策体系

基本目標	4 地球環境に配慮したくらしを实践するまち～低炭素社会の実現～（犬山市地球温暖化対策実行計画【区域施策編】）
------	--

■個別目標の達成状況

個別目標	(7) 省エネルギーの推進
施策	⑱ 家庭の省エネルギーの促進
	⑲ 事業者の省エネルギーの促進
	⑳ 公共施設の省エネルギーの推進

■施策指標の進捗状況

通番	担当課	施策指標	単位	計画策定時 (2019年度)		今回調査 (2025年度)		中間目標値 (2025年度)	目標値 (2030年度)
21	環境課	家庭部門における排出される温室効果ガス(CO2)排出量	千t-CO ₂	109		69		64	53
22	環境課	産業部門における排出される温室効果ガス(CO2)排出量	千t-CO ₂	349		270		301	280
23	環境課	市の事務事業から排出される温室効果ガス(CO2)排出量	t-CO ₂	7,376		6,144		5,831	4,426
24	環境課	公共施設での緑のカーテン設置施設数	施設	26		17		30	35

■今年度事業の進捗・達成状況

通番	目標達成に向けた取組	実施事業	担当課	R7計画		R7実績		
				計画値	積算根拠等	実績値	積算根拠等	達成度 評価
59	家庭や事業所における効果的な省エネルギー活動の促進のため、COOL CHOICE運動への参加を呼びかけます。	幅広い世代や分野を対象としたCOOL CHOICE運動の普及啓発活動の実施	環境課	—	「デコ活」への移行検討	1回	環境フェア(5/17)にて普及啓発	—
		関係機関と連携し、事業者に対しCOOL CHOICE運動普及のための情報提供	産業課	—		—		—
60	家庭や事業所の環境に配慮したライフスタイル・ビジネススタイルへの転換を促進するため、市民や事業者に対して省エネルギー対策に関する情報の提供するとともに、環境イベントや環境学習講座を実施します。	市民や事業者向けの省エネルギーイベントや講座の開催	環境課	—	自然環境を中心とした催しを実施するため、実施予定なし	0回		—
		関係機関と連携し、事業者に対し省エネルギー対策に関する情報提供	産業課	—		—		—
61	県と連携して市内の公共施設や事業所をクールシェア・ウォームシェアスポットとして認定し、休息施設としての利用を促進します。	クールシェア・ウォームシェアに関する情報提供 ※新型コロナウイルス感染症の影響によりスポット認定は予定なし	環境課・産業課	指定・開設	クーリングシェルターの指定及び熱中症特別警戒情報発令時の開設	0施設	・追加0施設 ・発令なし	—
62	県と連携して、中小事業者向け省エネ診断の受診を促進します。	中小事業者向け省エネ相談(あいち省エネ相談)の情報提供	環境課・産業課	—	商工会議所の協力を得て、会員向けの関連情報についてメルマガ配信	0回		—
63	事業所における省エネルギー活動の促進のため、エコチューニングの実施を呼びかけます。	エコチューニングに関する情報提供	環境課・産業課	—	商工会議所の協力を得て、会員向けの関連情報についてメルマガ配信	0件		—

通番	目標達成に向けた取組	実施事業	担当課	R7計画		R7実績		
				計画値	積算根拠等	実績値	積算根拠等	達成度評価
64	家庭や事業所におけるLED照明や高効率空調の設置・購入を促進します。	二酸化炭素排出削減をテーマとする関係セミナー（エコライフセミナー）の開催	環境課・産業課	—	自然環境を中心とした催しを実施するため、実施予定なし	0回		—
65	エコモビリティ・エコドライブの定着に向けた普及・啓発活動を推進します。	エコモビリティ・エコドライブのPRと促進策の実施	環境課・産業課	—	次世代自動車導入補助金の交付を通じて、エコモビリティを促進	①33件 ②1回	①補助金の交付を通じて、エコモビリティを促進 ②エコモビキャンペーン、エコモビの日の周知及び実施	—
66	事業所における環境マネジメントシステム（エコアクション21、ISO14001など）の導入を促進します。	関連情報提供の実施	環境課・産業課	—	商工会議所の協力を得て、会員向けの関連情報についてメルマガ配信	0回		—
67	犬山市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づき、市の事務事業における省エネルギー化を実施します。	全職員での「運用改善による省エネの推進（具体的な運用改善施策）」の実践	—	—		実施		—
68	公共施設においては、LED照明や高効率空調、省エネルギー型の設備の導入・更新を推進します。	公園（2箇所）の照明灯をLED灯に交換	施設所管課（土木管理課）	—		—		—
評価結果				年度当初の目標以上に取り組みを達成した		S	0	0.0%
				計画どおり目標値を達成した		A	0	0.0%
				取り組みを実施したが、外的要因で目標値は達成できなかった		B	0	0.0%
				取り組みを実施したが、内的要因で目標値は達成していない		C	0	0.0%
				全く実施していない		N	0	0.0%
				数値目標未設定（相手方からの申請など）		—	12	100.0%

■個別目標の達成状況

個別目標	(8) 再生可能エネルギーの利用促進
施策	⑳ 再生可能エネルギーの適切な導入の促進

■施策指標の進捗状況

通番	担当課	施策指標	単位	計画策定時 (2019年度)		今回調査 (2025年度)		中間目標値 (2025年度)	目標値 (2030年度)
25	環境課	犬山市住宅用地球温暖化対策設備導入補助件数(一体的導入)	件/年	9		28		15	20
26	環境課	公共施設での再生エネルギー導入施設数(累積)	施設	17		18		18	20

■今年度事業の進捗・達成状況

通番	目標達成に向けた取組	実施事業	担当課	R7計画		R7実績		
				計画値	積算根拠等	実績値	積算根拠等	達成度 評価
69	太陽光などの再生可能エネルギーの活用に関する情報提供を行うとともに、適切な導入によるエネルギーの地産地消を促進します。	市民対象の住宅用地球温暖化対策設備(蓄電池、家庭用エネルギー管理システム、太陽光発電設備一体導入)導入補助金の交付	環境課・産業課	—	①住宅用地球温暖化対策設備導入費補助金 ②住宅省エネ改修支援補助金	①82件 ②263件	①住宅用地球温暖化対策設備導入費補助金 ②住宅省エネ改修支援補助金	—
70	公共施設における再生可能エネルギーの導入に努めます。	—	施設所管課	—		0施設		—
				年度当初の目標以上に取り組みを達成した		S	0	0.0%
				計画どおり目標値を達成した		A	0	0.0%
				取り組みを実施したが、外的要因で目標値は達成できなかった		B	0	0.0%
				取り組みを実施したが、内的要因で目標値は達成していない		C	0	0.0%
				全く実施していない		N	0	0.0%
				数値目標未設定(相手方からの申請など)		—	2	100.0%

■個別目標の達成状況

個別目標	(9) 低炭素型まちづくりの推進
施策	② 省エネルギーに配慮した建物・設備への転換の促進
	③ 環境負荷の少ない移動の促進

■施策指標の進捗状況

通番	担当課	施策指標	単位	計画策定時 (2019年度)		今回調査 (2025年度)		中間目標値 (2025年度)	目標値 (2030年度)
27	環境課	公用車における低公害車の台数	台	7		6		10	13
28	防災交通課	コミュニティバスの年間利用者数	名	121,876		115,522		120,000	120,000
29	全課	LED等高効率機器が施設内の50%以上導入されている公共施設数	施設	15		126		100	130

■今年度事業の進捗・達成状況

通番	目標達成に向けた取組	実施事業	担当課	R7計画		R7実績		
				計画値	積算根拠等	実績値	積算根拠等	達成度 評価
71	省エネルギーに配慮した建物・設備の普及を促進します。	市民対象の住宅用地球温暖化対策設備(蓄電池、家庭用エネルギー管理システム、太陽光発電設備一体導入)導入補助金の交付	環境課	—	①住宅用地球温暖化対策設備導入費補助金 ②住宅省エネ改修支援補助金	①82件 ②263件	①住宅用地球温暖化対策設備導入費補助金 ②住宅省エネ改修支援補助金	—
		特定行政庁である愛知県と連携して、省エネ法などの情報提供(窓口チラシ配布)を実施	都市計画課	—		実施	窓口にてチラシ配布を実施	—
72	電気自動車、燃料電池自動車といった次世代自動車の普及を図ります。	市民対象の電池自動車充給電設備設置補助金の交付	環境課	—	次世代自動車導入補助金	33件	次世代自動車導入補助金	—
		関係機関と連携し、事業者に対し次世代自動車普及のための情報提供	産業課	—		—		—
		公用車として電気自動車(1台)の取得	総務課	—	現時点で電気自動車を購入する計画はない。	—		—
73	コミュニティバスの利便性の向上を図ります。	利用実績やアンケート調査などによるニーズ把握	防災交通課	12回/年	毎月の利用実績集計	12回/年	毎月の利用実績集計	A
74	関係機関との協力により、歩行者や自転車が安全で通行しやすい道路の整備・維持管理をします。	民間開発事業者へバリアフリー法などの周知を実施(チラシ配布)	都市計画課	—		25件	自己の居住用以外の都市計画法の許可にバリアフリー法に関するチラシを添付	—
		歩行者や自転車が安全で通行しやすい道路の整備	整備課	—		—	該当工事なし	—
		道路へのはみ出し防止や視距確保のため、路肩や道路植栽帯の除草および樹木剪定を定期的に行う。	土木管理課	2回/年	①道路除草1回/年 ②街路樹剪定(3年周期)1回/年	2回/年	①道路除草1回/年 ②街路樹剪定(3年周期)1回/年	A
			評価結果	年度当初の目標以上に取り組みを達成した		S	0	0.0%
				計画どおり目標値を達成した		A	2	22.2%
				取り組みを実施したが、外的要因で目標値は達成できなかった		B	0	0.0%
				取り組みを実施したが、内的要因で目標値は達成していない		C	0	0.0%
				全く実施していない		N	0	0.0%
				数値目標未設定(相手方からの申請など)		—	7	77.8%

■第2次犬山市環境基本計画における施策体系

基本目標	5 協働による環境活動の楽しさを未来に伝えるまち ～環境保全活動の拡大～
------	--------------------------------------

■個別目標の達成状況

個別目標	(10) 環境に配慮した行動の実践
施策	㊹ 環境にやさしいライフスタイル、ビジネススタイルの実践に向けた普及・啓発

■施策指標の進捗状況

通番	担当課	施策指標	単位	計画策定時 (2019年度)		今回調査 (2025年度)		中間目標値 (2025年度)	目標値 (2030年度)
30	環境課	省エネ講座の実施回数	回/年	1		0		2	3
31	環境課	環境学習講座等への参加人数	名/年	1,843		1,411		1,900	2,000

■今年度事業の進捗・達成状況

通番	目標達成に向けた取組	実施事業	担当課	R7計画		R7実績		
				計画値	積算根拠等	実績値	積算根拠等	達成度 評価
75	家庭や事業所における効果的な省エネルギー活動の促進のため、市民や事業者に対してCOOL CHOICE運動への参加を呼びかけます。	COOLCHOICE運動の普及と賛同登録機会の設定	環境課	—	「デコ活」への移行検討	—	県や他自治体も「COOLCHOISE」を掲げているため、移行見送り	—
		関係機関と連携し、事業者に対しCOOL CHOICE運動普及のための情報提供に努めます。	産業課	—		—		—
76	発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再資源化(リサイクル)の3Rを推進します。	①小学生向け(4年生)ごみのはなし冊子を作製 ②わん丸リサイクル小屋でリサイクル品販売	環境課	680冊	小学生向け(4年生)ごみのはなし冊子を作成	680冊	小学生向け(4年生)ごみのはなし冊子を作成	A
77	エコドライブの定着に向け、市民や事業者に対して普及・啓発活動を推進します。	エコモビリティ・エコドライブのPRと促進策の実施	環境課・産業課	—	次世代自動車導入補助金の交付を通じて、エコモビリティを促進	33件	次世代自動車導入補助金の交付を通じて、エコモビリティを促進	—
78	家庭や事業所の環境に配慮したライフスタイル・ビジネススタイルへの転換を促進するため、省エネルギー対策に関する情報の提供、環境イベントや環境学習講座の展開を図ります。	二酸化炭素排出削減をテーマとする関係セミナーやイベントの開催	環境課・産業課	—	自然環境を中心とした催しを実施するため、実施予定なし	0回		—
79	環境配慮型商品等の購入や、木材の利活用により環境に配慮します。	市役所消耗品でグリーン購入法適合品など環境配慮型商品等を購入	全庁	—		実施		—
評価結果				年度当初の目標以上に取り組みを達成した		S	0	0.0%
				計画どおり目標値を達成した		A	1	16.7%
				取り組みを実施したが、外的要因で目標値は達成できなかった		B	0	0.0%
				取り組みを実施したが、内的要因で目標値は達成していない		C	0	0.0%
				全く実施していない		N	0	0.0%
				数値目標未設定(相手方からの申請など)		—	5	83.3%

■個別目標の達成状況

個別目標	(11) 環境教育・環境学習の推進
施策	㊸ 学校における環境教育の充実
	㊹ 地域における環境学習機会の拡充

■施策指標の進捗状況

通番	担当課	施策指標	単位	計画策定時 (2019年度)		今回調査 (2025年度)		中間目標値 (2025年度)	目標値 (2030年度)
32	環境課	犬山里山学センターでの小中学校環境学習実施数	校/年	5		4		6	7
31	環境課	環境学習講座等への参加人数	名/年	1,843		1,411		1,900	2,000

■今年度事業の進捗・達成状況

通番	目標達成に向けた取組	実施事業	担当課	R7計画		R7実績		
				計画値	積算根拠等	実績値	積算根拠等	達成度 評価
80	事業者や市民との連携により、児童生徒が農業等を体験できるプログラムの提供、地域の環境保全・再生活動への参加など、児童生徒から家庭へ、また地域へと活動の輪を広げていきます。	家庭へのエコライフ普及啓発を目的とした子ども向け省エネ教室の開催	環境課	—	自然環境を中心とした催しを実施するため、実施予定なし	0回		—
		JA愛知北等との連携により児童生徒が参加できる農業体験プログラムの提供	産業課	7回/年	犬山市子ども大学農業学部6回、農業見学・体験会1回開催	7回/ 年	犬山市子ども大学農業学部6回、農業見学・体験会1回開催	A
		環境保全活動も含めた地域コミュニティ支援	地域協働課	実施		実施	助成金交付：6件	A
		地域コミュニティや地域住民の支援を受けて小学校にて農業体験を実施	学校教育課	7校	南小、城小、今小、羽小、楽小、池小、東小	7校	南小、城小、今小、栗小、羽小、楽小、東小	A
81	環境学習の教材や教育プログラムなどの整備、充実を図ります。	犬山里山学センターと特定非営利活動法人犬山里山学研究所による市内小中学校の環境学習講座の実施	環境課 学校教育課	—		8回	城東小4回、 羽黒小1回、池野小2回、犬山中1回	—
82	自然観察会、緑地や河川などの保全活動、環境美化活動など、誰もが参加できる、体験を通じた環境学習の機会について、多様な団体と関わり実施することで、参加者層や活動内容の拡充を図ります。	様々な団体と連携した環境関連事業の実施	環境課	7団体	(特非)犬山里山学研究所、愛知県、東大演習林生態水文学研究所、市商工会議所、名古屋鉄道(株)、スズサイコの会、サントリー(株)	9団体	(特非)犬山里山学研究所、愛知県、東大演習林生態水文学研究所、市商工会議所、名古屋鉄道(株)、スズサイコの会、サントリー(株)、大同メタル工業(株)、IFS	A
		子ども大学自然教室の実施	文化スポーツ課	1講座10回	1講座全10回	1講座10回	1講座全10回	A
		環境保全活動も含めた市民活動団体の育成、支援(活動助成金制度、相談・助言)	地域協働課	実施		実施	助成金交付：1件 相談件数：1件	A
83	市民や事業者の環境保全意識向上のため、環境学習の機会の充実を図ります。	二酸化炭素排出削減をテーマとする関係セミナーやイベントの開催	環境課・産業課	1回	環境総合イベント開催	1回	環境フェア(5/17)開催	A
84	市民が実施する環境学習活動に対して、講師の派遣等の人材支援を行います。	市民向けの出前講座の設定	環境課	—	・出前講座(文化スポーツ課所管事業) ・依頼により訪問説明等	0回	・出前講座(文化スポーツ課所管事業)	—
		地域資源バンクの運用による講師等の人材のマッチング支援	地域協働課	実施		実施	地域資源のマッチング件数：1件	A
			評価結果	年度当初の目標以上に取り組みを達成した		S	0	0.0%
				計画どおり目標値を達成した		A	8	72.7%
				取り組みを実施したが、外的要因で目標値は達成できなかった		B	0	0.0%
				取り組みを実施したが、内的要因で目標値は達成していない		C	0	0.0%
				全く実施していない		N	0	0.0%
				数値目標未設定(相手方からの申請など)		—	3	27.3%

■個別目標の達成状況

個別目標	(12) 協働による環境活動の推進
施策	㊴ 環境に配慮した活動への支援
	㊵ 協働による環境保全活動の充実と担い手の育成・活用
	㊶ 環境に関する情報共有と協働の場づくり

■施策指標の進捗状況

通番	担当課	施策指標	単位	計画策定時 (2019年度)		今回調査 (2025年度)		中間目標値 (2025年度)	目標値 (2030年度)
33	環境課	市民への指導・支援及び活動に携わった人数	名/年	603		468		650	700

■今年度事業の進捗・達成状況

通番	目標達成に向けた取組	実施事業	担当課	R7計画		R7実績		
				計画値	積算根拠等	実績値	積算根拠等	達成度 評価
85	市民や事業者に対し、自主的な活動を支援します。	里山学センターにおける市民活動団体の相談窓口の設置(市業務委託)	環境課	設置		設置		—
		環境保全活動も含めた市民活動団体の育成、支援(活動助成金制度、相談・助言)	地域協働課	実施		実施	助成金交付:1件 相談件数:1件	A
86	環境学習や環境保全活動の推進役となる担い手の育成し、その活用を図ります。	環境分野における人材育成関係講座の開催	環境課	6回	ボランティアスタッフ養成講座5回 緑のカーテン講座1回	6回	ボランティアスタッフ養成講座5回 緑のカーテン講座1回	A
87	子どもから大人まで誰もが楽しく、気軽に参加できるイベントや講座を開催し、環境活動に興味を持ち、参加する層の拡大を図ります。	市民参加の市主催環境関係事業の開催	環境課	25回	2025年間事業計画による (環境講座6回、ボランティア養成講座5回、ふれあいの森交流活動3回、自然観察会2回、市民総合大学2回、環境フェア1回 等)	21回	2025年間事業計画による (里山ウォッチング5回、ボランティア養成講座6回、ふれあいの森交流活動4回、自然観察会1回、市民総合大学2回、環境フェア1回、ウシモツゴ放流会1回、緑のカーテン講座1回)	C
		市民大学(環境学部)の開講	文化スポーツ課	2回/年	1講座全2回	2回/年	1講座全2回	A
88	市民ボランティア、事業者などと連携し、市民協働による環境保全活動やイベントを実施します。	様々な団体と連携した環境関連事業の実施	環境課	7団体	(特非)犬山里山学研究所、愛知県、東大演習林生態水文学研究所、市商工会議所、名古屋鉄道(株)、スズサイコの会、サントリー(株)	9団体	(特非)犬山里山学研究所、愛知県、東大演習林生態水文学研究所、市商工会議所、名古屋鉄道(株)、スズサイコの会、サントリー(株)、大同メタル工業(株)、IFS	A
		市民活動支援事業の実施	地域協働課	実施		実施	相談、マッチング、交流の機会づくり	A
89	環境活動の更なる拡大を図るため、環境保全活動を行うグループ間の交流を促進します。	里山学センターにおける市民活動団体の相談窓口の設置(市業務委託)	環境課	設置		設置		—
90	環境問題に関する情報を収集するとともに、情報の提供方法などの改善を図ります。	市ホームページ(環境施策関係)への新規情報掲載・掲載情報の更新・ページ構成見直しの実施	環境課	実施	新規情報掲載・掲載情報の更新	実施	CO2排出量、自動車騒音常時監視結果、特定外来種等	A
評価結果				年度当初の目標以上に取り組みを達成した		S	0	0.0%
				計画どおり目標値を達成した		A	6	66.7%
				取り組みを実施したが、外的要因で目標値は達成できなかった		B	0	0.0%
				取り組みを実施したが、内的要因で目標値は達成していない		C	1	11.1%
				全く実施していない		N	0	0.0%
				数値目標未設定(相手方からの申請など)		—	2	22.2%